

# 令和4年度 自己評価書

学校名	和歌山市立城東中学校
校長氏名	木村一紀
作成日	2023年(令和5年)3月10日

## 1 教育目標

人権尊重の精神を基盤とし、「自分を大切に<sup>ひと</sup>し、人を大切にする人間」の育成

## 2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	環境整備、連携・協力
指標	1. 授業が分かりやすいと思う子どもの割合 2. 学習到達度調査の正答率	1. 学校が楽しいと思う子どもの割合 2. 情報モラル関係の授業の実施回数	1. 朝ごはんを食べる子どもの割合 2. 体力テスト結果	1. 学校の様子がよく伝わったと思う保護者の割合 2. 外部人材の活用数
重点目標	◎基礎・基本の確かな定着 ○思考力・判断力・表現力の育成 ○主体的に学ぶ力の育成	◎道徳・人権教育の充実 ○いじめの未然防止、早期発見 ○豊かな感性の育成	◎基本的な生活習慣の確立 ○体力向上、健康維持 ○危機回避能力の育成	◎教育施設・設備の改善 ○家庭・地域・小学校との連携 ○各種人材・資源の活用
取組の状況	・スクールプランで示した具体的な取組を概ね実施できた。 ・ICT機器の活用と学び合いの授業に工夫とコミトレができた。 ・図書室の整備が進んだ。	・スクールプランで示した具体的な取組を概ね実施できた。 ・ゲストティーチャーを招いてのキャリア教育をはじめ講演会を複数実施できた。	・スクールプランで示した具体的な取組を概ね実施できた。 ・感染症拡大防止の学習や取組を進めた。	・スクールプランで示した具体的な取組を概ね実施できた。 ・感染症拡大防止のため、実施できない取組があった。
(評価結果)	【成果】 指標1 目標:90% 結果:96.8% 指標2 目標:平均以上 結果:平均以下の学年や教科あり。 【課題】 感染症対策をしながら、学び合いの授業実施をさらに推進させたい。	【成果】 指標1 目標:90% 結果:91.6% 指標2 目標:5回 結果:6回 【課題】 教職員数が減る中で、取組をどう継続・充実させるか。	【成果】 指標1 目標:95% 結果:87% 指標2 目標:平均以上 結果:平均に届かず 【課題】 コロナ禍の中、運動不足になっている。	【成果】 指標1 目標:80% 結果:75.6% 指標2 目標:のべ20件 結果:のべ50件以上 【課題】 小学校との交流、ゲストティーチャーによる授業等を実施していく工夫が必要。
改善方法	・主体的、対話的で深い学びの工夫をさらに進める。 ・学び合いの授業が実施できるように工夫する。 ・ICT機器の活用とコミトレをさらに推進する。	・取組の見直しや、外部資源の活用を図る。 ・人権教育に関する研修を継続する。 ・情報モラル指導を継続する。	・健康、体力向上についての啓発を継続する。 ・運動する機会の充実を図る。	・状況を見ながら、小学校との連携や外部資源の活用を継続する。 ・学校HP等の充実を計る。

## 3 その他の課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>○コロナ禍終了の後、より効果的に「何ができるか・どうすればできるか」、教育活動の見直しや改革が求められる。</li> <li>○生徒数及び教職員数減少への対応</li> <li>○生徒個々のニーズに応じた指導や支援の充実</li> <li>○学校施設・設備の老朽化への対応</li> <li>○教職員の働き方改革への対応</li> </ul>
--